



の中、合併協議において、全体的には住民サービスが向上し、負担が軽減されるよう議論を尽くし、概ね、この考えに沿った結論が導き出されたと考えている。新市においては、合併による行政のスケールメリットを生かしながら、健全な財政運営と公平な負担を基本とし、住民サービスの向上に努めたい。②合併協議の中では、統一するには時間や財源等に限りがあるため、当面はそれぞれの方式により実施するとしており、今後、新市において新たな考え方を関係部課と協議し、方向をまとめていく。③今後は、旧二町の学校も含め、すべての教室に設置できるよう取り組んでいきたい。

(総合政策部企画課)

○その他の質問項目

「市民の安全確保について」ほか

犯罪のない安心して暮らせる生活実現のための施策について

新井 宏 議員

問

警察の検挙率が低下している中で、コンビニ強盗やオレオレ詐欺等の事件が多発している。妻沼でも、建設重機やトラクター等の盗難事件が発生しているが、なかなか犯人が捕まらない。こうした状況を少しでも改善するため、市と各種団体が連携して、犯罪防止の対策をとるべきだと思いがいかがか。

答

これまで、安全なまちを目指して、旧熊谷市の全自治会長を対象とした防犯のまちづくり講演会の開催をはじめ、東京電力熊谷支社等の市内企業七社との防犯のまちづくりに関する協定の締結や、市民ボランティアによる子供安全パトロール等を実施してきた。旧熊谷市では、百三十二の自治会が地域において自主パトロールを実施しているが、さらに多くの自治会に、ご協力をいただけるよう働きかけていく。また、旧大里及び旧妻沼地区についても、自主防犯パトロール組織の一層の充実について、積極的に働きかけを行い、市民、警察、

行政が連携を深めた安心、安全のまちづくりを進めていく。(市民部安心安全課)



葬斎施設使用料の市民扱いの変更について

牛込 志津江 議員

問

メモリアル彩雲の施設使用料は、本人のみが市民扱いであり、市民以外の扱いになると、使用料が三倍から六倍になってしまふ。しかし、現在の家族の生活形態は多様であり、市外に住所を有する親族の葬儀を、市民が執り行う場合もある。そこで、深谷市や行田市のように、喪主まで市民扱いにできないか伺いたい。

答

葬斎施設メモリアル彩雲は、本市と江南町及び川本町の一市二町で運営しており、関係する二町と組織する葬斎施設運営連絡協議会において、今日の市民の家族生活が多様化する実態を踏まえ、

他市の公営斎場での取り扱い等を参考に検討していきたい。(市民部葬斎施設)

○その他の質問項目

「社会福祉協議会統合後の事業運営について」



メモリアル彩雲

都市間交通と熊谷南部開発について

新井 昭安 議員

問

①都市間交通における熊谷・東松山間軌道系新線のあり方について②都市間交通におけるシャトルバスの有効性について、太田・熊谷間の事例をどのように考えているのか③新市の総合振興計画における交通体系では、軌道系よりバス運行にウエイトを置くべきではないか、それぞれ伺いたい。

答

①この路線の実現は、本市の発展に寄与する大きな要素であるものと考えているが、新線の建設については、依然厳しい状況にあると認識している。②この事例は、新幹線の停車する熊谷駅に着目し、需要が相当数見込まれたことにより実現したものであると認識している。③新市の総合振興計画については、現在、策定に向け部内での作業を開始したところである。都市間交通は、都市の機能において、大変重要な要素であるので、シャトルバス等による移動手段について、民間事業者の参入可能性も含め、総合的に検討していく。

(総合政策部企画課)

○その他の質問項目

「市道整備について」

防災対策について

新井 正夫 議員

問

①自主防災組織の結成状況は②避難所の収容人数と基準は③最近の水害発生場所は④公共施設の耐震化率は⑤小学校ごとに防災備蓄庫を設置できないか⑥小中学校での防災教育は⑦自主防災組織結成後の活動費助成の考